

国語解答

配点

【問題一】

問一	(1)	おだやかな	(1)	(2)	かわせ	(1)	(3)	貸す	(1)	(4)	成績	(1)
問二	イ	(1)	問三	エ	(1)	問四	5	(1)	問五	ア	(1)	

【問題二】

問一	ウ	(1)	問二	便箋を	最終的に	決定する	質問だった	から				
問三	イ	(2)	問四	はじめ	一文	字	向ける	質	問五	ア	(2)	
問六	(2)	手のひら	問六	(1)	ツ	ジ	の色	を	認識	で	き	10
												ない
												い
												15
												(2)
												(例)

【問題三】

問一	知識	の	ファイル	1	(2)	問二	イ	(1)	問三	エ	(1)	問四	エ	(2)
問五	提示	された	名前	前に	よ	って	、	その	典型	的	な	イ	メ	
問六	ア	(1)	が	、	参加者	それ	ぞ	れ	の	記憶	に	35	影	響
														した
														40
														(3)
														(例)

【問題四】

問一		あじわい	(1)	問二		竹の子	(1)	問三	イ	(2)	問四	(1)	天道	(1)
問一				問二				問三			問四	(1)		
問四	(1)	エ	(1)	(2)	親	が	欲	し	が	る	も	の	(3)	
														2
														(例)

【問題五】

問一	イ	(1)	問二	ア	(1)	問三	ウ	(1)	問四	エ	(1)
----	---	-----	----	---	-----	----	---	-----	----	---	-----

問五

(例1) ア「臨機応変」
資料Bを見ると、少数ではあるが、どの年代においても、「どちらも使う」と答えている人が一定数いることが分かる。
私もぜひ、ここに属したいと考える。例えば、正式な場での会話や文章では正しい言葉遣いを使用したい。一方、親しい友人や家族とのやりとりでは普段どおりのら抜き言葉を使用したい。正しい日本語を身に付けたいので、ら抜き言葉については臨機応変に対応していこうと思う。

(例2) イ「十人十色」
資料Aからは、ら抜き言葉を使っている人と使っていない人の割合はほぼ半々であること、資料Bからは、年代によって様々な状況が見られることが読み取れます。
「十人十色」という言葉があります。好みや考えは、人によって違うという意味です。ら抜き言葉についても、これを誤った言葉遣いと捉えない考えもあります。私は、ら抜き言葉を使う人、使わない人、両方がいていいと思います。

(例3) ウ「永久不変」
平成二十七年では、「見られた」より「見れた」を使う人の方が多くなっている。また、年代が若くなるにつれて、ら抜き言葉を使用する率が高くなっているのが分かる。
このままいくと、正しい日本語を使える人がいなくなってしまうかもしれない。そこで私はこの言葉を選ぶ。言葉は変化するものと聞いたことがあるが、変えてはいけないこともあるはずだ。ら抜き言葉への意識も含め、正しい言葉遣いを継承していきたい。

6

得点

8

【問題一】

12

【問題二】

12

【問題三】

8

【問題四】

10

【問題五】

総得点

50

受検番号